

平成22年2月1日

各 位

上場会社名 株式会社ハウスフリーダム
 代表者 代表取締役社長 小島賢二
 (コード番号 8996)
 問合せ先責任者 取締役副社長 森光哲也
 (TEL 072-336-0503)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,799	165	170	120	3,085.55
今回発表予想(B)	5,362	255	262	177	4,541.17
増減額(B-A)	△437	90	92	57	
増減率(%)	△7.5	54.5	54.1	47.5	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	5,819	64	44	33	870.64

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,469	155	164	114	2,942.98
今回発表予想(B)	5,047	239	249	165	4,251.36
増減額(B-A)	△422	84	85	51	
増減率(%)	△7.7	54.2	51.8	44.7	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	5,383	△25	△44	△53	△1,388.16

修正の理由

世界的な金融危機の影響は未だ不動産業界の経営環境に不安要素を残すものの、在庫調整や各種経済刺激策等の効果により、値ごろ感のある物件を中心とした中古住宅、新築戸建住宅の取得需要が回復の兆しを見せはじめております。このような状況のもと、当社グループは財務体質の更なる強化を最重要課題として推し進め在庫圧縮に集中するとともに、新たな分譲用地の仕入れの選別を更に強化し、顧客のニーズに合った販売エリア・販売価格帯で分譲住宅を提供することに注力してまいりました。その結果、販売物件数の確保が計画を若干下回ったことが影響し、売上高につきましては減少する見通しとなりました。しかしながら、販売戦略の改善や工期短縮等の成果に加え、住宅資材等建築コストの削減によって新築戸建分譲事業の粗利益率は大幅に改善いたしました。また全社的に推進した固定費の削減活動の成果により、販売費及び一般管理費の圧縮効果が出たため、通期の連結業績につきましては、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、平成21年8月に公表した業績予想を上回る見通しとなりましたので、上記の通り修正いたします。同様の理由により個別業績につきましても、上記の通り修正いたします。

以 上